

日本学術会議公開シンポジウム・防災学術連携体緊急報告会
西日本豪雨災害の緊急報告会

仙台枠組みの実現に向けた
看護学内および他学問分野との協同

日本看護系学会協議会災害担当理事

日本学術会議連携会員 山本あい子(四天王寺大学)

日本学術会議にて 2018/9/10

日本看護系学会協議会
(Japan Association of Nursing Academy)

- ▶ 2001年設立（現在46学会）
- ▶ 目的：看護学の学術的發展をめざす看護系学会の相互交流と連携をはかり、看護学研究の成果を社会に還元する学会活動を支援し、看護学学術団体の立場から、人々の健康と生活の質の向上のため国や社会に向かって必要な提言を行うこと
- ▶ 主な活動
 - ✓ 1年1回の総会開催
 - ✓ 公開シンポジウムの開催
 - ✓ ニュースレターの発行
 - ✓ 日本学術会議との連携

災害発生に関連したJANAの活動

1. 災害発生時は、看護学の他組織と情報共有を実施
2. 各学会から出されたガイドライン・資料等の集約・共有・発信
3. 国連防災世界会議等、フォーラム開催
例えば、「東日本大震災からの復興と生活再建のための看護系学会の活動」
4. 災害関連シンポジウムを日本学術会議と共開催
5. 日本看護科学学会と連携した「災害看護支援事業」
6. 災害発生時の募金活動

災害における看護の学会連携

前述の活動から、災害に関連した会員学会連携の必要性を痛感(防災学術連携体設立と前後して)

1. 各学会組織を超えた災害関連の委員会の組織化
会員学会へ参加呼びかけ： 会員学会が自主的に参加
2. 目的
 - ①会員学会の災害関連活動状況把握とシステム構築
 - ②会員学会が有する災害関連の知の集約と構築
 - ③次の災害発生時に使用可能なガイドライン/ケアパッケージ等の作成 --- 一般の方々用/看護職用等
 - ④共同研究計画の立案---データベースの構築(基礎情報)や看護ケア方略の開発等を含む

JANAの災害における看護の学会連携 (学会 / 学会)

- (公社)日本看護科学学会
- (一社)聖路加看護学会
- (一社)日本がん看護学会
- (一社)日本看護学教育学会
- (一社)日本看護管理学会
- (一社)日本看護研究学会
- (一社)日本救急看護学会
- (一社)日本クリティカルケア看護学会
- (一社)日本公衆衛生看護学会
- (一社)日本小児看護学会
- (一社)日本助産学会
- (一社)日本精神保健看護学会
- (一社)日本創傷・オストミー・失禁管理学会
- (一社)日本地域看護学会
- (一社)日本糖尿病教育・看護学会
- (一社)日本母性看護学会
- (一社)日本循環器看護学会
- 高知女子大学看護学会
- 千葉看護学会
- 日本アディクション看護学会
- 日本運動器看護学会
- 日本家族看護学会
- 日本看護医療学会
- 日本看護技術学会
- 日本看護教育学学会
- 日本看護診断学会
- 日本看護福祉学会
- 日本看護倫理学会
- 日本看護歴史学会
- 日本災害看護学会
- 日本在宅ケア学会
- 日本手術看護学会
- 日本新生児看護学会
- (一社)日本腎不全看護学会
- 日本生殖看護学会
- 日本赤十字看護学会
- 日本難病看護学会
- 日本放射線看護学会
- 日本母子看護学会
- 日本慢性看護学会
- 日本ルーラルナーシング学会
- (一社)日本老年看護学会
- 北日本看護学会
- 日本ニューロサイエンス看護学会
- 日本フォレンジック看護学会
- 日本産業看護学会

平成30年西日本豪雨災害時の 看護の学会連携活動

* 支援者要請

被災者の健康状態把握調査と家庭訪問支援の依頼を受け、学会連携のネットワークを介してボランティアを募集

➡ 時間の間に約 名が手を上げ、調査に参加

災害における看護の学会連携ネットワークがあることで、災害後の活動支援の一端を担うことが可能。

要、看護分野の学会連携ネットワークの活性化訓練

会員学会が有するガイドライン等

1. 被災された**妊産婦及び乳幼児等**に対する支援のポイント
乳幼児栄養・母乳育児支援情報・災害時の子どもの関わり方等
2. **高齢者**関連の情報提供
避難所で高齢者を看護する人に対して高齢者の健康管理、**認知症の方のケア**について
高齢者等の**口腔ケア、摂食嚥下サポート方法**
3. **糖尿病患者の方々とケアをする人**への情報提供
高血糖・低血糖への対処、避難生活の**注意点**
災害時の**糖尿病看護マニュアル(災害支援フロー)**
4. **被災された方々**への情報提供
日常生活の注意点、エコノミー症候群とその予防
5. **化学療法中の方々**への情報提供(特に避難所で生活されている方)
6. **人工肛門のある方**への情報発信
皮膚・排泄ケアの相談先、皮膚・排泄ケアの災害対応ガイドブックの内容
7. 一般の人々等に対する情報発信
生活環境、支援体制、被災者の様子/健康状態、ケア提供者の様子、災害対策本部の情報
避難所の記録方法について、被災地の支援要請の状況、ボランティア活動、支援物資供給
募金活動

平成30年西日本豪雨災害時の 看護の学会連携活動

* 被災地支援に向けて

災害が頻発していることから、各学会が有している
ガイドライン情報の集約と発信

災害発生時に見られること

災害発生時、何が起きているのか？どこに何があるのか？などなど、**情報不足であり、状況把握が困難**

例えば、外部からの支援者にとっては、被災地に入ることができる**経路情報が必要**

例えば、外部からの支援者にとっては、**被災地で得た情報を、集約する方法が必要**

**要、各学問分野が必要とする項目/情報等の共有と
災害発生を想定した訓練**

今後に向けて

人間の安全保障創造に向けた研究の必要性

災害後の人々は、日常生活を失い、命の脅かしを経験し、健康も害しがち。

より良い復興は、事前のハード面強化と人材強化、加えて、災害を体験した人々に安全・安心感をどのようにして創りだすか、その方略が必要。

今後に向けた提案

1. 実践的側面として

- ①看護分野内の学会連携ネットワーク活性化訓練
- ②各看護系学会が有しているガイドライン情報の集約と発信
- ③各学問分野が必要とする項目/情報等の共有と災害発生を想定した訓練

2. 研究的側面として

- ①学問分野共通課題として、安全・安心創造研究を